

活動結果報告書

令和5年1月31日

越前市議会

議長 吉田 啓三 殿

議員氏名 小形 善信

下記のとおり報告します。

日程 令和5年1月15日(日曜日)～平成 年 月 日(曜日)

活動先 創至・一志会合同会派ニュース

活動目的 越前市の取り組みや今後の政策を市民に伝える。

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

印刷業者 有限会社 清水印刷

折込業者 ㈱福井新聞折りこみセンター

㈱福井広報センター

支払金額 98,072円（合同会派各議員で按分）

配布先 市内各所

印刷部数 28,000枚

別添のとおり

創至・一志会

合同会派ニュース

発行
越前市議会
会派「創至」
会派「一志会」
合同機関紙

2023 うさぎ年 飛躍の年に！



市民の皆さまには、ご健勝にて新年をお迎えになられたことと思います。さて、昨年7月に市議会議員選挙が行われ、22人の議員の中で7名の議員が、会派「創至(5名)」と会派「一志会(2名)」を結成しました。

この2つの会派は、

- 市民の声を市政に反映し、市民が主人公となる市政を目指すこと。
- 自由闊達な議論により、公平公正な市政運営を目指すこと。

以上、市政に対する取り組み方針を共有できることから、お互いに連携して活動していくことと致しました。

具体的な活動として、

- 合同会派による機関紙の発行
 - 市民と語る会の開催
 - 市長への政策提案
- などがあります。

今回、その一環として【合同会派】による機関紙発行となりました。

7月の市議選から今日までの経過報告

市議選を受けて、8月に正副議長をはじめ議会の各委員会における正副委員長を選任する組織議会が開催されました。私たち合同会派から、正副議長を擁立しましたが、他会派の議員が選出されました。

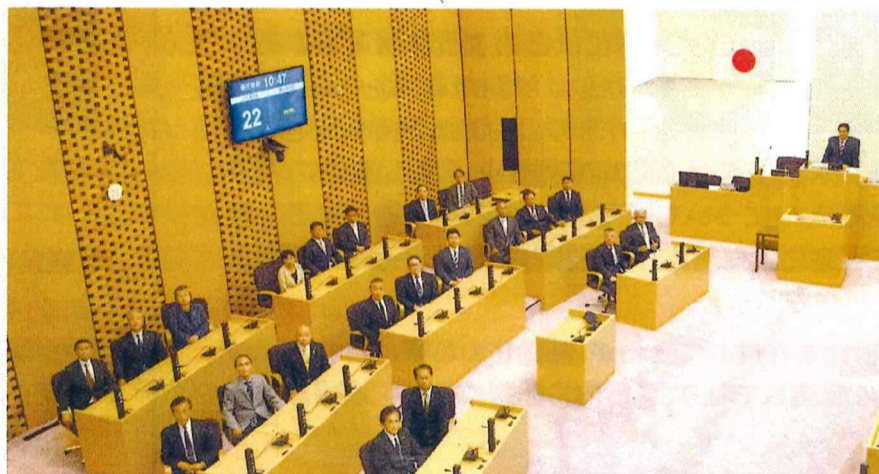
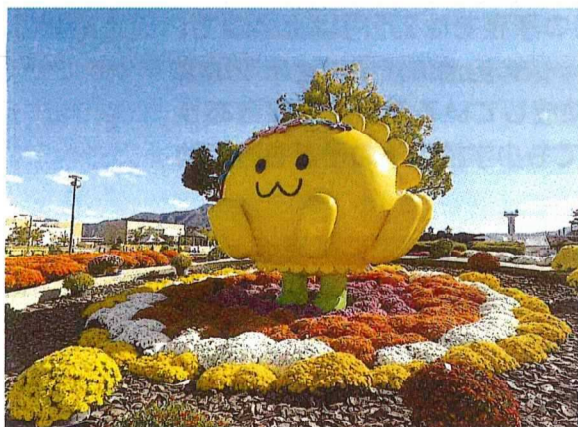
各委員会における正副委員長選任については、合同会派から4名の委員長を輩出することとなりました。

9月議会報告

9月議会では、補正予算に加え、条例改正、使用料条例の改正、工事請負契約(西校区新公立認定こども園)、市道認定、財産(除雪機)の取得、令和3年度決算。それに係る健全化判断比率の報告等が提案され、審議の結果全ての案件が承認されました。

また、中期財政計画の改定、市総合計画策定、指定管理終了

施設等、市職員定年引き上げ、(仮称)市パートナーシップ宣誓制度、マイナンバー普及促進、日野川等の河川改修事業早期事業化等について説明があり、質疑や議論をしました。



12月議会の報告

12月議会では、補正予算案に加え、条例の改正や制定、5施設の指定管理者の選定、専決処分2件が報告されました。

その中で、特に議論があったのは、指定管理制度についてであります。制度運用が始まって約20年以上が経過しており、公共施設の効率的な管理や運営を図るために国が主導してこの制度が導入され、本市も積極的に取り組んできました。

しかし、制度の運用や指定管理者選定委員会のあり方を含め、再検討の時期が来ていると感じました。

また、代表質問や一般質問では、市が現在取り組んでいる【市総合計画】に関する議論が多くあり、これからのふるさとづくりに迅速に取り組む山田市政に対する期待の表れだと感じました。



題佛臣一

会派「創至」 「一般質問」

共に目指そう！
素敵な笑顔で、新しい生き方を！

半世紀に一度のまちづくりで、進められてきたハード整備。財産となるか負の遺産となるかは、行政の姿勢と計画次第。単身世帯の増加や近隣関係が希薄化する中で、社会から孤立する人々が生じやすい環境になってきている現状があります。障がいのある方も無い方も共に暮らしていける地域共生社会が進められています。

今年も制度の狭間で置き去りになった方への支援を全力で取り組みます。

離職した若者が再チャレンジできる就労支援の場を

Q.若者の早期離職が増えている要因には、人間関係などで自信がなくなり再就職ができない状態が続いている若者も少なくない。市内企業の協力を頂き、自信を取り戻し、再スタートのできる「中間的就労支援」の取り組みに早急に取り組んで頂きたい。

A.早期に退職する若者がいることもお聞きしており、今後は市内企業に対して、すぐに働くことが難しい方を対象に、就労体験の場を設けて頂くよう「中間的就労支援」を呼びかけてまいります。



小形善信

会派「創至」 「一般質問」

六期目の当選をさせて頂きましたが、今後も地域住民の安心安全を保つことが地域自治にとっては最重要と認識しております。

国において「災害対策基本法の改正」がなされたことから、市の対応も充実させるべく活動して参ります。

地域防災について

Q.災害時にはどのような状況下であっても「みんなが助かる、誰一人取り残さない」為の防災意識を持った地域を

構築すべきであり、周囲の支援が必要な高齢者や、障がい者らの円滑な避難のため、一人ひとりについて避難場所や経路、手助けする人などを事前に決め、被災者個別に対応した支援者の確保と行動計画を作成すべきである。

A.市では個別避難計画を作成してきたが、高齢化の影響により支援が十分でないことは認識しており、各町内に体制の構築を依頼していきたい。

[小形] 災害時には死亡者の殆どが1時間以内に集中していることから、近所の方々の協力体制を町内で構築すべきです。近所同士で助け合う「近助」を、住民同士で真剣に考えて頂きたいと思います。

地方創生について

Q.現在、岸田内閣が掲げる成長戦略「新しい資本主義」の「デジタル田園都市国家構想」が示された。これは「地方創生」の取組みに「デジタル」を掛け合わせ、地方創生の取組みを加速、深化させようとしているが、新「越前市総合計画」に組み込まれているのか？国や県との連携など整合性を計っていくのか？

A.国の骨子が示されており、新しい総合計画では包括的にカバーしたい。また、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が示されれば、整合性を執ります。

[小形] 国土交通省は、長期的な国作りの指針となる10万人規模の「地域生活圏」の構築を重点に据えています。越前市も自主的・主体的に取り組むことができます。国や県との連携を密にした予算の獲得に向けて、市当局と共に我々議員も働きたい。

「代表質問」

今後の指定管理者制度の在り方をどのように考えるか。

Q.指定管理者の選定は、選定委員の判断で決まってしまう事から、選定委員の責任は大きい。今日まで選定にあたり事前調査はどのようにされたか？5年で変わってしまう指定管理では、安定した管理運営ができない。又、公募と非公募の基準が不透明ではないか？

A.制度導入から約20年が経過し、施設の利用状況も変化しているため、指定管理者制度について改善点などを検討し、今後、より良い運営に向けて、見直しを行っていきます。

ひきこもり相談体制の充実を

Q.県では、昨年からはひきこもり者を対象に、電子媒体を使った電子居場所(SNS・メール・ライン・ズーム)等を取り入れ、相談支援に取り組んでいる。市においても、孤立・孤独対策は重要であり、ひきこもり者はもとより、社会と関わりを持っていない方々(一人暮らし等)への支援の一つとして、オンラインを使った相談支援体制も是非、取り組んで頂きたい。

A.対面で話が出来ない方とのコミュニケーション手段として、メールやSNSであれば1対1やチャットが基本であるが、メタバースであれば、仮想空間で多くの人と関わる事ができる。そのメリットを活かし、ひきこもりの方や家族が、情報や意見を交換できる場の一つとして活用してまいります。



安立さとみ

会派「創至」 「一般質問」・「質疑」

四期16年間、子どもや高齢者をはじめ社会的に弱い立場の方々の声を政策の場に届けてきました。福祉や子育ての現場ではまだまだ困っている方がたくさんいます。これからも市民の目線で弱い立場の方々の声を届けていきます。

高齢者の在宅介護の実態と課題を把握すべき

Q.第9期介護保険事業計画に向け在宅介護の状況把握は重要であるが、どのように実施しているのか？

A.在宅で要介護認定を受けている高齢者1,200人を無作為抽出し郵送にて実施している。

[意見] 調査対象者の中には単身者や高齢者のみの世帯も多く含まれます。書面による調査では、記載が理解できない方もいる事で実態把握が難しいと考えられます。郵送ではなく訪問聞き取りでの調査を実施すべきです。

小学校以下の子どものインフルエンザワクチン接種に助成を

Q.令和2年度では子どもへのインフルエンザワクチンへ助成を実施したが、1年のみの助成で中止した理由は？

A.令和2年度、令和3年度の季節性インフルエンザの感染者が極めて少ないという状況から助成は必要ないと判断した。

[意見] 小学生以下の子どものワクチン接種は2回必要です。1回の接種で3千5百円から4千円かかることで、2回接種で費用は7千円から8千円になります。3人の子どもを持つ家族では2万円以上必要で、家計への負担も大きくなります。県内半数の自治体が中学生まで助成しています。中学生まで全員に全額助成している自治体も複数あります。子育て支援として越前市においても小学校以下の子どもへの助成をすべきです。

越前市武生中央公園総合体育館の指定管理者の決定に疑問

Q.指定管理料が年間1700万円も大きく上回っている候補者を選定したが、実績はどのように調査したのか？

A.国内複数の体育館を管理している実績をインターネットで調べ、評価した。



中西 昭雄

会派「創至」 「一般質問」

越前市の将来像

～新しい総合計画2023案について～

12月議会で「越前市総合計画2023」(案)が提案されました、この計画の中心となるキーワードは「ウェルビーイング」～客観的な指標で表す豊かさではなく、一人一人が感じる幸せを実感できること～とあるのですが、この考えがどのように政策に活かされるのか質問をさせていただきました。

Q.ふるさとづくりの理念、めざす姿はどのような事を考えておられるのか？

A.100年人生のあらゆる場面、境遇の中でもそれぞれの幸せを感じ、自分らしく暮らせる「居場所」と、地域の宝に誇りを持ち、自分の可能性を表現できる「舞台」の場を創造し、「幸せを実感できるようなふるさと」を理念とし、人口減少の中でも10万人の元気と活力100年人生の幸福実現1000年未来につなぐふるさとづくりを目指して行く。

Q.めざす姿 ①10万人の元気と活力とは？

A.越前たけふ駅周辺エリア企業誘致により外国人を含む人口流入促進、観光やビジネスによる交流人口や、ふるさと納税による関係人口を増大させる。U I J ターン相談窓口の一本化、移住支援制度の拡充とともに、本市の魅力を積極的に発信し10万人の元気と活力の維持、拡大につなげていく。

Q.文化県都宣言プロジェクトにユネスコ創造都市への加盟とはどのように考えているか？

A.「ユネスコ創造都市ネットワーク」には文学、映画、音楽など7つの分野があり、伝統工芸や文化活動が盛んな本市には、工芸や地域固有の芸術分野である「クラフト&フォークアート」分野での加盟がふさわしいと考えている。「創造都市ネットワーク日本」への参加手続きを行い、国内160を超える参加自治体及び団体との交流を始めながら、創造都市にふさわしいと認められる活動を高め、ユネスコ加盟を目指していきたいと考えている。



清水 一徳

会派「一志会」 「代表質問」

国道417号開通について

Q.岐阜県と福井県を最短で結ぶ国道417号「冠山峠道路」の開通が令和5年に予定されている。開通後の中京圏からの誘客の受け入れ態勢の整備は？

A.(市長)冠山峠道路の開通によって、大垣市・池田町は約1時間55分で結ばれ、従来より1時間10分早くなる。岐阜・福井両県にまたがる周遊観光ゾーンの形成や、災害時の交通路の確保が期待できる。最初の受け入れ口は今立地区となることから、ハツ杉千年の森、和紙の里周辺、花筐公園、味真野地区などの来訪者を意識し、パンフレットの配架や案内看板の設置などを検討する。

県や丹南地域の市町と連携しながら、伝統工芸や食、継体天皇などの歴史素材など、魅力となる観光資源を活かした観光ルートの開発などを行っていく。

[提案]和紙や織物等1500年の歴史を持つ今立地区周辺を継体天皇に纏わる物語を考えるのも良いのでは。

Q.現在の国道417号ルートは旧今立町時代に策定されており、合併後は戸谷・片屋以外には何も再検討されていない。東西1号線(戸谷・片屋線)への連結を目指すためにも三里山トンネル構想も検討に値すると思うが、市の考えは？

A.(市長)具体的には、池田町と鯖江市を結ぶ「岐阜丹南連絡道路」と共に、県において検討が行われるが、本市において最も効果的で、利便性の向上を考え、県や関係市町と十分に連携し、研究を進めていきたい。

指定管理者制度の見直しについての提案

Q.制度導入から17年経過して、その効果と課題を再検証すべきではないか？管理運営状況の監視体制の在り方も考えるべきでは？

A.(市長)現在、施設管理部署において、指定管理・業務委託・直営など、管理の在り方そのものの総点検を行っており、改善点などを検討しよりよい運営に向けて見直していく。監視体制については、第3者委員会である評価委員の意見をはじめ、選定委員会のチェックのあり方について研究していく。



佐々木 哲夫

会派「一志会」 「一般質問」

平成26年から4年間市会議員をさせて頂きました。まさに半世紀に一度のビックプロジェクト『体育館、中央公園、サッカー場、本庁舎と総合支所』の建設に取り組んでいる最中でした。振り返りますと、この期間、人生で一番、様々な事を経験させていただきました。

この度、4年の空白を経て、再び市議として活躍の場を与えて頂きましたので、市民が主役のまち、公平・公正なまちを目指して頑張ります。

自治振興会と公民館の役割の見直し

Q.市民がまちづくりに関心を持ち、積極的に参加するために、自治振興会と公民館の役割の見直しは重要だが、市長の考えは？

A.地域自治振興事業が創設され、現在に至るまでの経緯や取り組みなどに違いがあります。また、各地区の振興会事業が増えていることも原因の一つと考えられ、今後、振興会事業をゼロベースで見直すことも必要では。自治振興会と公民館はお互いを尊重し、それぞれが持つ資源や強みを生かすことが重要です。

Q.地域に根ざした組織の育成に力を入れてほしいが？

A.活力ある地域づくりの推進のためには、地域の社会教育団体や市民活動グループの活性化が必要不可欠であり、地域組織の育成に取り組んでいきます。

農業の振興

Q.多くの子どもたちに、無農薬・無化学肥料栽培によるコメを食べてもらい、理解を広げられると良いが、市の考えは？

A.本年度、コウノトリ呼び戻す農法米(無農薬無化学肥料栽培米)を、一部の小中学校で試行的に提供します。

今後、このようなコメを採用するためには、供給量確保や、現在のコメとの差額が課題で、関係機関と連携を取りながら検討します。





能勢淳一郎

会派「創至」 一般質問

昨年の市議会選挙で初当選させていただいて、早や6ヶ月が経ちました。

その間、2回の定例議会や配属された各委員会などを先輩議員のご指導の元なんとか務めてきました。

今後とも多くの人の話を聞き、自分の目で確かめ、課題を洗い出し解決の方法を見つけたいと思いますのでよろしくご指導下さい。

半年間の議会での主な一般質問は以下の通りです。

Q.北陸新幹線延伸に伴う並行在来線の畷町に建設予定の新駅について、今後の予定は？

A.令和7年武生商工高校キャンパス統合に合わせて最寄り駅となる新駅を開業の予定。(令和4年9月当時)地元畷町の説明会の後、可能な時期に畷町・南地区自治振興会・武生商工高校に説明し図面の変更反映していきたい。

Q.自治振興の現状と課題について

A.現状として市からの協力業務が増えていて振興会には大きな負担になっている事は認識している。

今後は地域の負担感の軽減に取り組むなど持続可能な地域自治と協働のあり方を検討する。

Q.紫式部関連事業について

A.今後、令和6年の大河ドラマ「光る君へ」オンエアに向けて機運を盛り上げていく。紫式部公園へのアクセスはのろっさ南ルートの運行を主に考えている。北陸新幹線「越前たけふ駅」からの二次交通はタクシーやレンタカーが中心になると考えているが今後複数の交通手段を検討すべきと考えている。

Q.総合計画2023「まちなか活性化」について

A.北陸新幹線「越前たけふ駅」からの来訪者をまちなかに誘導するため観光客の受け入れ整備が必要となる。

まちなかでの住宅取得やリフォーム支援、また若者の定住とUIJターンの促進、さらには魅力ある店舗の誘致など、まちなかにぎわいを創出する。



コラム

いま、世界的に見ると、政治や民主主義に対する不安や不満が非常に高まっていると感じています。人々の声に耳を傾けてくれない！との嘆きの声を耳にします。弱い立場の人や声なき声に耳を澄まし、心を込めて聞き取ることが、政治にかかわる人間にとって、とても大切なことであると、改めて心に問いかけています。

海洋を走るすべての船は、ある時間、一斉に無線を止めて、小さな船からSOSが発信されていないか？心配りをしていると聞きます。大きな声を出せというのではなく、小さな声にも耳を傾ける。この配慮が素晴らしいと思います。

以前に結成された学生グループ「SEALDs」の元創設メンバーの奥田愛基(あき)さんが、語った言葉が心に残っています。「組織としてではなく1人の人間としてのお願いです。どうか、政治家である前に派閥に属する前にグループに属する前に、たった1人の個であってください。自分の信じる正しさにむかい、勇気をだして孤独に思考し、判断し、行動してください」

まさしく、私たち、政治を担う一人一人は、組織に属する前に、一人の人間として、この町をこの国をどう思うのか？しっかりとした信念と考えが求められているのだと思います。

会派「創至」と「一志会」による 合同会派「市民と語る会」 開催のご案内

私たち合同会派は、市民の皆さまの声を市政に反映するために、このたび市内2ヶ所で【市民と語る会】を開催いたします。ご都合の良いところにご参加ください。

◆開催案内

とき 1月21日(土) 14:00~

ところ 北新庄公民館

とき 1月22日(日) 10:00~

ところ 武生南公民館

【語る会の内容】

- ・合同会派の市政に対する考え方について
- ・9月議会、12月議会における議会報告
- ・市が当面する新幹線駅前整備について
- ・20年先の本市の未来を見据え、当面5年間のプロジェクトに取り組む【市総合計画】について などなど
- ・参加者との意見交換

編集後記

昨年7月の市議選を経て、早や6ヶ月が経過しました。

山田市も1年経過し、現在、市は、総合計画策定に取り組んでいる最中です。特にこの5年間に12のチャレンジプロジェクトと24の政策を提案しています。これら積極的なふるさとづくりに果敢に取り組もうとする姿勢に、大きな期待をしています。

一方、議会においては、これまでどちらかと言えば、済んでしまったことだから！との感覚であった前年度の決算について、これからは、精査し次年度の予算に反映させるための提言を目指す、政策システムに取り組み始めました。実効性あるシステムになるよう、私たちもしっかりと協議・検討していきたいと思っております。

また、マスコミに報道されました【議員報酬見直し】についても、市民の方々からいろんなご意見をお聞きしていきたいと思っております。議員の仕事ぶりが市民の皆さまに十分にご理解されていない点なども踏まえ、真摯に議論していくことを強く感じています。

会派「創至」

題佛 臣一 090-5689-0741

小形 善信 090-3292-5118

安立さとみ 090-8094-2333

中西 昭雄 090-3298-8587

能勢淳一郎 090-3290-4000

会派「一志会」

清水 一徳 080-3046-3371

佐々木哲夫 090-2838-8026